

みずほCustomer Desk Report 2019/12/09 号 (As of 2019/12/06)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	108.81 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.73	1.1104	120.77	1.3160	0.6834
SYD-NY High	108.92	1.1110	120.78	1.3165	0.6857
SYD-NY Low	108.52	1.1040	120.01	1.3100	0.6824
NY 5:00 PM	108.58	1.1061	120.05	1.3137	0.6842
NY DOW	28,015.06	337.27	日本2年債	-0.130	2.00bp
NASDAQ	8,656.53	85.83	日本10年債	-0.010	3.00bp
S&P	3,145.91	28.48	米国2年債	1.6180	2.67bp
日経平均	23,354.40	54.31	米国5年債	1.6667	3.65bp
TOPIX	1,713.36	1.95	米国10年債	1.8424	3.47bp
シカゴ日経先物	23,530.00	200.00	独10年債	-0.2885	1.00bp
ロンドンFT	7,239.66	101.81	英10年債	0.7700	▲0.15bp
DAX	13,166.58	111.78	豪10年債	1.1220	3.00bp
ハンセン指数	26,498.37	281.33	USDJPY 1M Vol	4.90	0.05%
上海総合	2,912.01	12.55	USDJPY 3M Vol	5.61	0.09%
NY金	1,465.10	▲ 18.00	USDJPY 6M Vol	5.99	▲0.01%
WTI	59.20	0.77	USDJPY 1M 25RR	-1.08	Yen Call Over
CRB指数	181.19	1.12	EURJPY 3M Vol	5.87	0.05%
ドルインデックス	97.70	0.29	EURJPY 6M Vol	6.28	0.03%

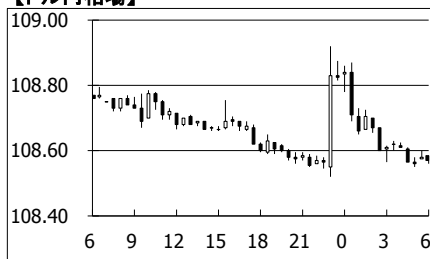
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月6日	14:00	日 景気一致指数・速報	10月 94.8	97.3
	16:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	10月 -1.70%	0.10%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	11月 266k	180k
	22:30	米 失業率	11月 3.5%	3.6%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	11月 0.2%/3.1%	0.3%/3%
12月8日	00:00	米 ミシガン大学消費者マインド・速報	12月 99.2	97.0
	中 貿易収支	11月 \$38.73b		\$44.5b
	中 輸入/輸出(前年比)	11月 0.3%/-1.1%		-175.0%

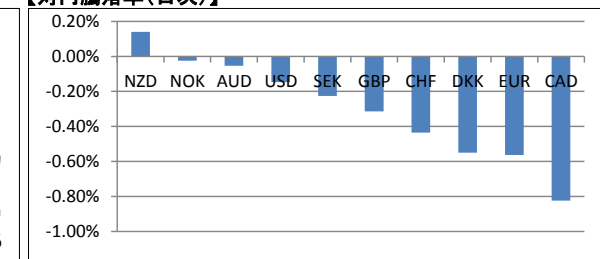
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月9日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	3Q 0.20%	0.10%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・確報	3Q 0.6%	0.6%
12月10日	07:05	豪 ロウ豪中銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 週後半のビックイベントに備えて

先週6日発表された11月米雇用統計が市場予想比良好であったことを受け、米国景気減速への懸念が後退、株式市場は続伸したもののドル円相場は109円手前で失速し、ここ数日のレンジ内である108円前半から109円後半を抜け出せず、明確な方向感を示すことはできなかった。ただ、今週から来週にかけては欧米の金融政策会合やブレグジットを巡る英国での総選挙、米国の対中制裁関税第4弾の発動等多くのイベントが控えており、為替相場も大きな動きがでる可能性があると考えている。中でも市場関係者が一番注目し、警戒するのは15日に到来する米国の対中制裁関税発効期限であろう。米中双方の事情を鑑みれば、関税発効を遅らせるのではないかと見方が大勢である。「米国と中国の貿易合意が近い」とするヘッドラインが多くでていることで市場でも織り込みが進むが、一方、トランプ大統領からは「米中合意は大統領選後でもよい」とのコメントもみられており、依然予断を許さない。相反する見方に長いことマーケットは振られてきたが、15日にやっと方針が出されるわけである。もし、年内に第1段階の通商合意が成立し、完全発効が回避されれば、安心感から再び110円を目指してドル円は上昇するだろう。一方、関税発効となってしまった場合はリスク回避の動きにドル円も下落するだろうが、その際は株式市場の動きにも注意が必要だ。特にこれまでに米中の合意期待に株高トレンドが継続していただけに失望や材料出尽くしによる大幅な株式下落を伴えば、円高の動きは増幅されると考えている。週前半はイベントを控え小康状態、週後半にかけては警戒感が強まることが予想される。予期せぬ相場変動に備えて久しぶりに身構える必要がありそうだ。

東京	東京時間のドル円は108.73でオープン。米中貿易協議の新材料待ち雰囲気が強まる中、更に海外時間に米雇用統計が控えているとあって値動きに乏しい展開となった。東京時間の値幅は上下12銭にとどまり、結局108.69で海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.69でオープン。朝方からドル円はじりじりと売られる展開となったものの、11月の米雇用統計前ということもあり、値幅は限定的、108.57でNYに渡った。ポンドは、1.3158でオープン。今夜の英保守党ジョンソン首相と労働党コービン党首の党首討論を前にやや売りが優勢となり、1.3147でNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531 444 179 永井)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、米雇用統計発表を控えているほか、米中貿易協議関連のヘッドラインが警戒されていたことから様子見ムードが広がり、狭いレンジで推移。欧州時間に入ると、米金利の低下を跳め、108.55までじりじりと下落し、108.57でNYオープン。朝方は米11月非農業部門雇用者数が予想を大きく上回り、前回分も上方修正されたほか、米11月失業率が予想を下回り、総じて良好な雇用統計の結果を受けてドル買いが先行し、108.92まで上昇する。しかし、前日高値(109.00)付近では上値が重くなり、108.78まで反落する。その後、米11月ミシガン大学消費者マインド指数も予想を上回ったことから108.87まで反発するが、グロム・米NEC委員長がインタビューで「米中貿易合意は近い一方、一部条件が満たされなければトランプ大統領は合意しない用意がある」と述べたことが伝わる中、買いは長く続かず、再びじり安推移となる。来週にFOMCや英総選挙等のイベントを控える中、持ち高調整の売りもあいまって、108.53まで下落。終盤は小幅値を戻し、108.58でクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、イベント前に様子見ムードが強まったことから、1.1100近辺の狭いレンジで推移し、1.1090でオープン。午前は米11月雇用統計の結果を受けてドル買いが強まり、1.1040まで下落する。午後は小幅に値を戻すも、ユーロを買い戻す新規の手掛かり材料が乏しい中、上値は限定され、結局、1.1061でクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松本・谷舗 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア

ブル	ベア
11	9